

会長就任挨拶



近畿生乳販売農業協同組合連合会

代表理事会長 倉橋 準典

会員の皆様には、記録づくめの猛暑のなか良質乳の安定供給に日々大変なご苦労を頂いていると拝察いたしますとともに、そのご努力に深く敬意を表します。

私は、去る7月に開催されました第10回通常総会において理事に選任され、その後の理事会において理事の皆様の推挙により会長に就任致しました。これまで村上前会長の下で副会長を務めてまいりましたが、改めて会長としての責務の重大さを痛感しているところであります。未だ知識・経験共に浅く会員並びに関係の皆様のご指導・ご協力が何よりの力添えとなりますので、これまで以上のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ご承知のように、近畿生乳販連は発足とともに村上前会長が会長を務められ、その強力なリーダーシップにより広域の指定団体としての体制を着々と整えてこられ、取引交渉においても近畿生乳の有利販売に大きな成果を挙げてこられました事この場をお借りして深く感謝の意を表する次第であります。

改めて申し上げるまでも無く、生乳販連の使命は会員の生乳を如何に有利販売するかということが第一であります。他地域に伍して有利販売を継続していくための近畿の優位性は为什么呢、消費圏内の生産地であることや、域内に乳業メーカーが多いという社会的条件を除き、我々生産者が出来る事は平凡な事ではあります。安全・安心に裏づけされた良質・新鮮乳の安定供給であると確信しております。今後、会員一致結束して衛生的にも成分的にも全国有数の良質乳の生産地を目指そうではありませんか。

また、近畿に限ったことではありませんが生産基盤が縮小するなか、生産者組織として管理経費の削減も重要な課題となっております。集送乳の合理化は、地域と乳業メーカーとの強い繋がりもあり数字上の合理性だけで割り切れるものではありませんが、今後生産基盤の大きな変化も予想されることから早急な推進が求められておりますし、それと併せ指定団体の機能についても、府県会員との分担も含め効率化・合理化を図ってまいりたいと考えています。

酪農・乳業を巡る政治、経済状況は過去に無い不透明感を増してきており、消費拡大を始め取り組まなければならない課題も山積しておりますが、会員の皆様とともに一つひとつ着実に解決に向け努めてまいりますので、旧に倍するご支援ご協力をお願いし会長就任のご挨拶と致します。